



被害と加害の断絶は埋められるか 東海テレビ「ホーム」を見て考える

6月29日(土) 14:00～

パネリスト 森 達也 (映画監督)
 繁澤 かおる (東海テレビ「HOME」助監督)

会場 明治大学和泉キャンパス 和泉図書館1階ホール(京王線「明大前駅」下車)
 〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1

主催 死刑廃止フォーラム90 / 森達也問題解決ゼミ (4年)

「私は、人殺しですが鬼ではなく人間です。それだけは忘れないでください。」と書き残した神田司さん。闇サイト事件で2015年6月25日に死刑を執行された。

闇サイト事件では無期懲役となり、余罪で今、一、二審死刑判決を受けた堀慶末さんは、「私は、思います。神田さんの分も自分が罪を背負い、たとえ処刑されることになったとしても、残された時間をすべて贖罪に捧げていかなければいけないと」(『鎮魂歌』インパクト出版会)。彼は原稿を書くことで自分に向き合い、罪を悔い続ける。

しかし彼らが起こしてしまった事件でかけがえのないのちを奪われた被害者、そして大きな喪失感をかかえ続ける被害者遺族たち。

私たち死刑廃止運動に関わる者は、加害者だけではなく、被害者の思いをも自分に突きつけなければならない。

東海テレビが昨年12月、中部地方限定で放映した「ホーム——闇サイト事件・娘の贈りもの」を見て、被害と加害の問題を考えたい。



◆次回 2019年7月6日(土) 14時 文京区民センター2A ◆
 オウム13人執行から1年 あの執行を問い直す
 永岡英子さん(オウム真理教家族の会)に聞く
 オウム事件13人の死刑が執行されて1年、もう一度、オウム事件とあの執行の意味を考える。

死刑廃止国際条約の批准を求める FORUM90

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-13 港合同法律事務所気付
 TEL. 03-3585-2331 FAX. 03-3585-2330 郵便振替口座: 00180-1-80456 フォーラム90